

啖養太郎



- * 栃木県アンサンブルコンテスト・
 - 東関東アンサンブルコンテスト成績概要
- * マイバンド・マイミュージック
 - …矢板市立矢板中学校吹奏楽部
- ★ 各支部だより(県内各支部広報部員より)
- * コンサートカレンダー 4月~6月

目 次

| 🗶 理事長 巻頭言 | 1 | |
|---------------------------|--------------------|--------|
| 🗶 栃木県アンサンブルコン | テスト成績概要 2 |) - |
| 🗶 東関東アンサンブルコン | テスト成績概要 3 | } |
| ※ マイバンド マイミューラ 矢板市立 | ジック4 :矢板中学校吹奏楽部 | ŀ |
| 🗶 栃木県ソロコンテスト成 | 績概要 6 | ì |
| ※ 各支部だより 下都賀. 小山 & 下都賀. □ | 栃木 7 | , |
| 芳賀. 真岡 & 上都賀 | 8 | } |
| 安蘇. 佐野 & 足利 | 9 |) |
| 塩谷. 那須 | 10 |) |
| 宇都宮. 河内 | 11 | |
| 🗶 チューニング | 13 | } |
| 米 コンサートカレンダー | 13 | } |

芸は身を助ける

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚武男

芸には数限りなく色々なものがあると思う。身近に即席に出来るもの、大掛かりなものを使って出来るもの、また、個人で行うもの、少人数で、多人数で、団体で行うものとさまざまなものがある。どれをとっても、芸と思われるものであるならば素晴らしいことである。

芸の中でも音楽に関することに絞って述べてみよう。

音楽を奏でることが出来る人は、素晴らしいことであるし、誰にでも出来るようで 出来ないものである。奏でるには上手、下手の技量があり、人よりも高度なこと (勝ること)の出来る人には回りの人たちから尊敬の念を抱かれる。

音楽には自分の喉を使って歌うもの、色々な楽器(音が出る物)を使って演奏する ものなどがある。人よりも勝る上手なものであるならば、芸として認められるもので ある。

そんな中、吹奏楽を行っている関係の皆さんは、楽器を使って、音楽を奏でることが出来る芸の一つであると思う。「私は下手だから芸ではない」と思う人も、楽器を奏でることの出来ない人から見れば、人よりも勝ったことを行っているのである。

先日、私の身近な所で、中国の高校生と出会うチャンスがあり、日本の高校生と共に歓迎の交流を持つことになった。その交流の中で、お互いに自分の存在感をあらわす必要性にあったとき、中国の生徒たちは民族楽器である二胡を奏で、ある者は珍しい楽器を奏でた。日本の生徒も楽器を奏でて交流が行われた。

お互いの芸の表現で(演奏)相手の人たちを即座に理解することが出来、それをもとに話が(手振り身振り)弾み、心から溶け合って絆を作ることさえも出来たのであった。

その他、吹奏楽団と海外演奏旅行を共にしたとき、外国の不安な環境の中で自分たちをアピールすることは大変勇気のいるものである。そんな中、音楽を奏でたとたんに、自分たちの存在感を表すことができ、自分たちに自信が沸き、初めて会った人から声をかけられて、音楽という共通の感動を持って心の解け合いの経験を何度か味わっている。

言葉が通じない相手であっても音楽で共通の理解をもち、「音楽は世界共通の言葉 である」という体験をしている。

楽器を奏でることが出来るということは、芸を持っていることで、自分の存在感を 十分に表すことが出来るのである。

平成6年度 第36回

《栃木県アンサンブルコンテスト・金賞受賞グループ一覧》

◆小学校の部

12月18日(土) 芳賀町民会館〔31組〕

4 真岡小学校

★打楽器6重奏

5 大宮北小学校

★打楽器6重奏

16 五代小学校 18 清原東小学校 金管5重奏

21 今市第三小学校

金管8重奏

22 五代小学校 ★金管8重奏

24 真岡小学校

★木・打8重奏

★金管8重奏

31 真岡小学校

★木・金・打8重奏

◆中学校の部

予選 1 班 12 月 11 日(土) 芳賀町民会館〔62 組〕 予選 2 班 12 月 12 日(日) 芳賀町民会館 [64 組]

本 選 12月23日(木.祝)鹿沼市民文化センター [36組]

2 益子中学校 6 姿川中学校

18 陽西中学校

19 益子中学校

★打楽器4重奏

★打楽器5重奏 ★サックス4重奏

★サックス5重奏

123 宮の原中学校

! 28 姿川中学校

31 陽東中学校

★木管5重奏 ★金管6重奏

★金管8重奏

32 益子中学校 ★金管8重奏

◆高等学校の部

予選 1 班 12 月 18 日(土) 芳賀町民会館〔41 組〕

予選 2 班 12 月 19 日(日) 芳賀町民会館 [42 組]

本 選

12月23日(木.祝)鹿沼市民文化センター [24組]

3 真岡高校

★打楽器6重奏

★フルート4重奏

9 真岡女子高校 10 真岡高校 12 石橋高校

★クラリネット4重奏

★クラリネット7重奏

14 宇都宮北高校

★サックス4重奏

★サックス4重奏 **1**15 今市高校 17 作新学院高校

24 宇都宮南高校

★ユーフォニウム4重奏

★金管8重奏

◆大学の部

12月23日(木.祝) 鹿沼市民文化センター [7組]

(1國學院大學栃木短期大学 ★打楽器8重奏

銀賞)

(7國學院大學栃木短期大学 ★木・金・弦8重奏 銀賞)

◆一般の部

12月19日(日) 芳賀町民会館 〔30組〕

2 パーカッションアンサンブル Daruma

4 サウンドウィズ

6 クオドリフォリオ

7アンサンブル・ヴェリテ

8 小山市交響吹奏楽団

10 宇都宮北高〇BOG

11 今市ウインドアンサンブル

12 フルリールクラリネットアンサンブル ★クラリネット 4 重奏

23 F = c 1 e f

★打楽器 5 重奏

★フルート 4 重奏

★クラリネット 3 重奏

★クラリネット 4 重奏 クラリネット 4 重奏

クラリネット 4 重奏 ★クラリネット 4 重奏

★バリ・チューバ 4 重奏



第10回東関東アンサンブルコンテスト・入賞記録(本県出場団体)

期日 平成17年1月23日(日)

(プログラム順)

結城市民文化センター…大ホール・中学校・高等学校

小ホール・小学校・一般・大学・職場

◆中学校の部

5 宇都宮市立姿川中学校 打楽器 五 《銅賞》

7 益子町立益子中学校

打楽器 四 《銀賞》

14 宇都宮市立陽東中学校

金管 八 《銅賞》

16 益子町立益子中学校

金管 八 《銅賞》

18 宇都宮市立姿川中学校

金管 六 《銅賞》

22 益子町立益子中学校

サクソフォーン 五《銅賞》

26 宇都宮市立陽西中学校

サクソフォーン 四《金賞》 木管 五

33 宇都宮市立宮の原中学校

《銀賞》

◆高等学校の部

打楽器 六 4 県立真岡高等学校 《銀賞》

10 県立宇都宮南高等学校

金管 八 《銀賞》

15 作新学院高等学校

ユーフォニアム 四 《金賞》

19 県立宇都宮北高等学校

サクソフォーン 四 《銅賞》

20 県立今市高等学校

サクソフォーン 四 《銀賞》

23 県立石橋高等学校

クラリネット 七 《銀賞》

25 県立真岡高等学校

クラリネット 四 《銅賞》

26 県立真岡女子高等学校

フルート 四 《銅賞》

◆小学校の部

真岡市立真岡小学校 打楽器 六 《金賞》

金管 八

栃木市立大宮北小学校

打楽器 六 《金賞》

宇都宮市立五代小学校

《銀賞》

宇都宮市立清原東小学校 金管 六

《金賞》

真岡市立真岡小学校

管・打楽器 八 《銅賞》

真岡市立真岡小学校

木管・打楽器 八 《金賞》

一般の部

3 パーカッションアンサンブル Daruma 打楽器 五 《銅賞》

10 F - c l e f

ユーフォニアム・チューバ 四《銀賞》

21 アンサンブル・ヴェリテ

クラリネット 四 《銅賞》

22 今市ウィンドアンサンブル

クラリネット 四 《銀賞》

23 フルリールクラリネットアンサンブル クラリネット 四 《金賞》

クラリネット 三 《銅賞》

24 クオドリフォリオ 27 サウンド ウィズ

フルート 四

◆大学の部

- 2 國學院大學栃木短期大学室内楽研究会 打楽器 八 《銅賞》
- 3 國學院大學栃木短期大学室内楽研究会 管・弦バス 八 《銀賞》

マイハンド・マイミコー Vol. 6

矢板市立矢板中学校吹奏楽部

○顧問 小池 春男 戸村 真一

- 学校所在地… 矢板市上町 ・部創設…昭和30年頃
- ・全校生徒数…758名・部員数…32名(男子4名、女子28名平成16年度末)
- 「♪~光降る高原山は 窓近くゆたかにそびえ~♪」という校歌の歌詞にあるよ うに、北西には四季折々の姿を見せる高原山を眺めることができます。部活動が 盛んで、16の常設部と3の特設部が開設され毎日熱心に活動しています。
- - 4月 離任式演奏
 - 5月 つつじまつり演奏
 - 7月 塩那地区吹奏楽フェスティバル、夏季合宿
 - 8月 栃木県吹奏楽コンクール
 - 9月 運動会での演奏、東関東吹奏楽コンクール、 チャリティーコンサート、塩谷地区学校音楽祭
 - 栃木県学校音楽祭中央祭 10月
 - 11月 3年生を送る会、塩那地区ソロコンテスト
 - 12月 八汐苑訪問演奏(生徒会福祉委員会清掃活動と一緒に)、 栃木県吹奏楽アンサンブルコンテスト
 - ふれあいコンサート合同練習(市内小学生と一緒に)、 1月 栃木県吹奏楽ソロコンテスト
 - ふれあいコンサートIN YAITA 2月
 - 3月 関東甲信越中・高生管打楽器ソロコンテスト、定期演奏会

○*練習メニュー* **->☆→>☆→☆→☆→☆→☆→☆→☆→☆→☆→☆** 平日

7:30 音出し・ロングトーン・タンギングなど基礎練習

7:50 音楽室の原状復帰と簡単な清掃

生徒登校・朝の会・授業・・・・帰りの会 8:15

16:20 合奏準備・音出し・個人練習

17:00 合奏・後片付け

18:00 下校

平日は授業終了後それほど時間がないので、合奏を行います。パート練習や セクション練習などは休日に集中して行います。





3年生が引退した後に、1・2年生だけで臨む演奏会が「ふれあいコンサート」です。毎年、コンサートのフィナーレに矢板小・矢板東小吹奏楽部と合同演奏を行っています。合同演奏の練習は、矢板中学校を会場にパートに分かれてパート練習・合奏を行います。このときばかりは、楽器を初めて1年に満たない1年生もお兄さんお姉さんとなって小学生に指導したりしています。1年にたった1回ですが、とてもよい経験になっています。

また、年に2回の定期演奏会を春と秋に開催しています。秋は、「チャリティーコンサート」と称し、チャリティー募金を設けその浄財全額を特老などに寄贈しています。 更に、地域にお世話になっている分、地域に還そうという主旨で2回の演奏会ともに本校講師の先生方と演奏会が行われています。学校から歩いて15分のところに文化会館があり、立地の面でもたいへん恵まれていると思います。

① 連絡をしよう

休日や祝日を利用しての家族旅行等をしたり、塾や通院等、何か用事があって休んだりしてもいいよ。そのかわり本人でいいから、パートリーダーと顧問に必ず連絡をしよう、という約束をしています。

② あいさつをしよう

矢板中学校生徒会の活動にオアシス運動があります。誰に対してもあいさつができるようでなければ、吹奏楽部員である前に矢板中学校の生徒じゃないよ、という話も時々します。

③ 感謝の気持ちを持とう

吹奏楽部として活動していくには多くの方々の協力なしには活動できません。親の会の方々、講師の先生、演奏会場・機会を提供してくださる方々・・・。感謝の気持ちを持って、できれば家に帰ったらまずお家の人にお礼の気持ちを表そう、というような話をステージで演奏した後に必ずお話ししています。

④ 中学生にとって勉強・基本的生活習慣が第一

「授業が真面目に受けられない生徒、生活習慣が乱れている生徒、勉強との両立を図ろうとしない生徒は吹奏楽をやる資格はないよ。」と話しています。

「吹奏楽部の活動について」という保護者向けの周知資料に

- ・音楽を通し心豊かで、思いやりのある 協調性に富んだ生徒の育成を図 る。
- ・厳しい練習を通し音楽のもつ喜び、美を感じ取り、進んで社会に奉仕できる生 徒の育成を図る。

というようなことを掲載しています。

大切なことは、生徒一人一人が「まず、自分は頑張ったか」「仲間のことを考えられたか」「満足する音楽になったか」を感じ取ることができたかどうか、ということだと思っています。演奏活動を通して、様々なことを学び、人間性豊かな生徒になってもらいたいと思います。



第5回

《<u>栃木県吹奏楽ソロ・コンテスト 金賞受賞記録</u>》 (プログラム順)

1月16日(日)栃木県総合文化センター サブホール

◆小学校部門

添谷 笙子 フルート 1 真岡小 《金賞》

4 真岡小 渡邉 愛 フルート 《金賞》 準グランプリ

9 五代小 加藤 令奈 コルネット 《金賞》 グランプリ

トランペット 11 御幸が原小 津田亜由美 《金賞》

Ebチューバ 18 作新学院小 駒場 詩織 《金賞》 準グランプリ

◆高等学校部門

フルート 2 真岡女子高 伊澤 未来 《金賞》 グランプリ 県代表

12 宇都宮南高 日向野美紀 トロンボーン 《金賞》 準グランプリ 県代表

トロンボーン 《金賞》 13 真岡高 武崎創一郎

県代表

3 作新学院高 織田 かおり フルート 《銀賞》 県代表

4 石橋高 坪田 彩 フルート 《銀賞》 県代表 15 作新学院高 大森由美子 ユーフォニアム 《銀賞》 県代表

◆中学校部門

7 今市中 フルート 阿久津 望 《金賞》

8 真岡中 鶴見 妃彩 フルート 《金賞》 準グランプリ 県代表

9 真岡西中 大越 絵梨花 フルート 《金賞》 準グランプリ 県代表

19 陽西中 堀 健人 アルトサックス 《金賞》 グランプリ 県代表

24 矢板中 柿沼 麻美 ファゴット 《金賞》 準グランプリ 県代表

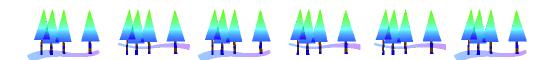
26 星が丘中 栗原 香恵 コルネット 《金賞》 県代表

32 姿川中 黒須 さゆり ホルン 《金賞》

40 清原中 福田 あかり ユーフォニアム 《金賞》 県代表

47 今市中 福田 絢香 マリンバ 《金賞》

※「県代表」は、平成17年3月6日(日)に海上自衛隊東京音楽隊(東京都世田谷区) で開催された JBA 関東甲信越支部第3回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに 推薦された演奏者です。



下都賀.小山支部

[石橋町立石橋中・坂本 美保]

今年も最終の「吹奏太郎」の発行日が迫ってきた。卒業期にあたりいつも思うのは、吹奏楽をやってきたこの子たちが、卒業後も吹奏楽を続けてくれたらいい。吹奏楽でなくてもなにか音楽に関わっていたらいい。ということだ。昨年あるTV番組で吹奏楽がかなりクローズアップされた。尤も、放映時間には家にいたためしはなく、もっぱら部員からの情報と、親切な楽器屋さんが録画してくださったビデオテープに頼っていたのだが。そしてそれを見た運動部の男の子たちが、吹奏楽に関心をもったり、課題曲「風の舞」を口ずさんだりしているのをほほえましく思った。



吹奏楽に憧れて高校に入学する生徒たち(ばかりではないかもしれないが)が,高校生活をそれに費やすことは幸せなことだろう。学校を選ぶことのない中学生が,偶然出会った吹奏楽部,やりたくて入った吹奏楽部で,音楽が好き,という思いを大きくしていってほしい。そんな活動をしていきたいと思う。

また、別れと出会いの季節だ。

下都賀·栃木支部 〔藤岡町立藤岡第一中·黒野 篤代〕

季節はずれのインフルエンザの流行のため、部活動はここのところ1週間お休みです。皆様の学校はいかがだったでしょうか。間近に迫った卒業式に演奏する曲の練習もままならない。そんな状態です。これからに向けて、と思っていたところだったので、不安はありますが、生徒の健康が一番。目先のことにとらわれず、全体が心身ともにいい状態に持っていきたいと思っています。



本校の吹奏楽部は、今年23名の3年生が部を支えていました。3年生が引退した頃は、2年生もまだまだ幼さが残っていましたが、アンサンブルコンテストに出場した後は、部活内でもしっかりしてきました。

毎年のことですが、生徒の成長の様子が本当に楽しみです。 来年度も、心身ともに成長した3年生になる様子を見守ってい きたいと思います。

1年間の活動をふり返って

今年度1年間の様子を顧問の先生方にインタビューしました。



無我夢中の1年でした。夏のコンクール前、「これで本当にコンクールに出られるのだろうか?」副顧問の先生と真剣に悩んだ時期もありました。でも、上手とか下手ではな

くとにかく音楽で自分を表現したいとがんばる生徒達の熱

い思いに私自身が励まされ、本番を迎えることができたことが一番印象に残っています。これからも生徒とともに歩んでいきたいと思います。*中学校 顧問*

今年度の思い出は、初めてソロコンテスト、アンサンブルコン テストに出場したことです。大人数の吹奏楽でしか演奏経験のない



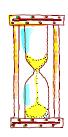
生徒達は、個人又は少人数での演奏表現の難しさを痛感したようでした。また、他校の演奏を聴き、演奏技術の高さに驚いていたようです。このコンテストで学んだことをこれからの演奏に役立てて、よりよい音楽を目指していきたいと思います。*中学校 顧問*

上都賀支部

[今市市立東原中·大藤 正嗣]

学校の感覚で言う3学期のこのシーズンは、吹奏楽は「オフ」に近い。他の部活動が、たとえば積雪で校庭が使えず校舎内でトレーニングをするように、基礎力を蓄える期間でもある。小学校では6年生が最後まで活動に参加できるが、中学高校では最上級生は引退してしまう期間でもあるからなおさらだ。にもかかわらず、というよりこのような期間だからこそ、積極的に演奏活動の場を設ける団体、学校も多い。昨年、今年と、数校合同で演奏会を行う例や、各地イヴェントに出演するなどの例が本地区でも見られる。

学校の吹奏楽がこの時期活躍する場は、やはり卒業式だろう。CDなどで儀式音楽をまかなうことももちろんできるが、生の音の魅力は、その場の感動に直結できることだと思う。富田勲やYMO(このあたりを熱心に聞いたのは今や特定世代に限られると思うが)が大きな影響を持っていた時期、今後の音楽は電子音楽に流れるかとも思われたが、現実はそうは運ばなかった。



昨今のヒット曲を見ても、一般的なバンド形態の音楽の中に、かなりの数、アコースティックな響きを大事にした曲が混じっている。 ピアノやギターだけといった素朴な響きが目の前の空気を直接ふる わせる感触とともに、じかに心の琴線に触れるのだろう。

卒業という人生の節目の儀式で、「目の前で直接」奏でられる響きは、技の巧拙を超えて、学校への思いの象徴としていつまでも心に残るものだと思う。今年もこの時期、多くの学校でそんな「思い」が伝えられたはずである。(G. W.)

2月26日(土)、葛生町あくとプラザを会場に、 栃吹連理事長の石塚武男先生、顧問の丸山雄史先生 を講師にお迎えして、第3回安佐地区スクールバン ドフェスティバルを行いました。

小学校から高校までのスクールバンドが一堂に会しての演奏会は、とても楽しかったです。特に中学生と高校生による大編成の合同バンドは、吹奏楽の楽しさを実感することができました。



閉会式では、お二人の先生からとてもあたたかいご講評をいただきました。 本当にありがとうございました。

最後に、ステージ上の合同バンドに会場の小学生も加わって、「今日の日は さようなら」を合唱奏して、充実した一日が終わりました。この時期に、この ような大会に参加することは大変ですが、一年間通した活動をするうえで、子 供たちの励みにもなり、目標となることと思います。来年の大会が楽しみです。

足利支部

[足利市立第三中・早坂 純子]

去る2月20日(日)、足利市民プラザ文化ホールにて第20回ウインド・アンサンブルフェスティバルが開催されました。参加者は市内の小・中学生、高校生、大学生、一般と幅広い年齢層にわたり、アンサンブル部門・ブラスバンド部門を合わせて43団体出場という盛大なものとなりました。また、午前の部のラストには、ゲストとしてお招きしたGee Ya (ジーヤ)の皆さんによるジャズアンサンブルのコンサートもありました。以下に、参加した生徒の声を紹介します。

- ♪ジーヤの皆さん一人一人のソロがすてきで、なんであんなに上手なのかと思いました。僕は多分、基礎がしっかりしているんだろうなと思います。トロンボーンの佐藤さんのスライドさばきが特にかっこよくて、「さすがプロ」という感じでした。
- ♪今回の木管アンサンブルの練習は、自分でもこれまでになく真剣に取り組みました。 本番はけっこう自信がありましたが、思ったようにいかず、とても悔しかったです。 でも、今回の演奏で自分たちに何が足りなかったのかを考え、夏に向けてうちの木 管を最強にしていきたいです。
- ♪私は金管アンサンブルで、一人一人がちゃんと自分の役割をはたしながらまとまらなくてはならないということと、最後まであきらめず努力することを学びました。 全体でやるときも、まずは金管楽器のみんなで一つになることが大切だと感じました。 た。アンサンブルの練習はとても大切で、とても難しいと思いました。

2/12・13のリーダー講習会でモデルバントに参加した生徒に感想を聞きました!!

私は今回初めてモデルバンドに参加して、たくさんのことを教えてもらいました。はじめは緊張してしまい、なかなかいつもと同じように行動することができなかったけれど、少しずつ自分の意見を言うことができるようになりました。

でもやっぱり、モデルバンドに参加している人たちは、すぐに自分の意見を言うことができ、返事も私が想像していた以上に元気にハキハキとしていました。だから、音も自信に溢れていました。いい音を出せる人は、その人自身もきちんとしているのかな、という印象がありました。モデルバンドに参加して、いろいろな学校と一緒に2日間過ごしたことで、これから私達の学校に必要なことや課題がたくさん出てきました。この2日間は私にとってとても有意義な2日間でした。 S・Hさん

私は参加申込をした当初、モデルバンド参加にあまり前向きではありませんでした。特に高校生と一緒に演奏をすることは初めてだったので、「間違えてしまったらどうしよう」とマイナスなことばかり考えていました。

でも実際にみんなで演奏をしてみると、楽器の演奏技術はもちろん人として大切なことも学べた気がします。自分よりも多く経験を積んだ人と演奏をすることは、とても楽しいことなんだなと思い、終わった後は少なからず気持ちが前に向いたと思います。これからも自分にとってのマイナスをプラスに変えていけるように、実力を高めていきたいと思います。

モデルバンドに参加することができて、本当によかったなと思っています。高校生と一緒という点が不安でしたが、高校生はとても大人でした。練習中も演奏中も、みんなのことを考えていて、自分の部にはない雰囲気でした。指導してくださった加養先生からも、いろいろなことを教えていただきました。2日間で終わってしまったモデルバンドですが、メンバーの皆さんに はとても感謝しています。 A・Yさん

初めは「高校生の方がやる気がなさそうだ」 と思いましたが、いざ練習が始まってみると、 発言も積極的で本当に音楽が好きで、演奏をし ているんだなと思いました。

また、他の中学校なども自分達と同じ悩みを持っていることがわかり、みんな一生懸命なんだなと思いました。 Y・Mさん



宇都宮·河内支部 [県立上三川高・細野 美樹] **加盟団体紹介No.2です**。

宇都宮市立豊郷中学校

豊郷中学校吹奏楽部は、現在23人で活動しています。部の雰囲気はとても明るく、笑顔が絶えません。私たちが現在抱えている悩みは、部員が少ないことです。そのためパートに偏りができてしまっています。最近は年々部員の数が減ってきているので、来年度は新一年生にたくさん入部して欲しいです。新一年生が入部したくなるような部にするために、今私たちができることは、チームワークをより良くし練習を重ねることだと思います。特に練習の面では、現在パート練習を充実させています。部員同士が積極的に意見を出し合うことで、一人一人が自分の音に責任を持ち、楽しく演奏できるバンドにしたいです。そして、私たちの演奏を聴いた人に、「楽しそうだな。わたしもやってみたい。」と思ってもらえるような演奏をしたいです。

部全体の雰囲気・演奏の両方の面で活発で魅力のある部にしていきたいと思います。

(部長 田邉 真梨子さん)

栃木県立宇都宮東高等学校

宇東高吹奏楽部は、合唱部を兼ねて活動している部員もおり(月火金が吹奏楽、水木が合唱)、他にア・カペラの練習や、軽音楽部に参加したりと、幅広い音楽活動を行っています。中でも特筆すべきは夏の高校野球の応援で、男子校ならではの醍醐味を味わうことができます。

学習と部活動との両立は、部員にとっては悩みのタネかと思うのですが、彼らはそんな様子も見せずにとにかく音楽を精一杯楽しんでいます。間もなく中高一貫として新しいスタートを切る本校ですが、生徒・顧問一同、今、男子校としての部活動を満喫しているところであります。(顧問 沼尾 守夫先生)

♪ 部員数や練習時間の確保などどちらの学校も様々な悩みを抱えていますが、その中でも純粋に音楽に打ち込んでいる生徒のひたむきな姿が印象的です。

「どの学校にも悩みはあるけれど、何よりも生徒が『3年間楽しかった!』 と思える 部活動をしていくことが一番大切なんだ。」と先日のリーダー 講習会で加養先生がおっしゃってたことを思い出しました。

《県アンサンブルコンテスト審査員より》

■ "暗譜"で演奏するグループが多くなってきたことは大変良いことだと思う。音楽、とりわけ少人数でのアンサンブルは暗譜での演奏が基本。お互いの息づかい、表情なども感じ取りながら演奏することで、音楽が生き生きとしてくる。当然、音楽に勢いが生まれ聴衆の感動を呼ぶことになる。欲を言えば、暗譜で、できるだけ"立って"演奏することが望ましいと思う。

逆に、自分の譜面台と楽譜だけの世界で演奏しているように見えるグループも目立ち、少し残念にも感じた。

今後も"暗譜"での演奏が多くなることを期待したい。

2005年 4月 *コンサート カレンダー* 版木県吹奏楽連盟

日曜 項 目 備 考

石橋高校吹奏樂部 Second Saunter Concert

4月2日(土) 13:30開場 14:00開演

小山山市文化センター 入場無料

《With Heart and Voice マツケンサンバⅡ 他》

平成17年度 栃木県吹奏楽連盟 定期総会 4月29日(金・祝) 教育会館大ホール

☆☆ 「マイバンド・マイミュージック」 次号は、 "県立宇都宮南高等学校吹奏楽部"を予定しています。 ☆☆